

[5月外来医師一覧表]

新/新規患者 再/再来患者

Table with columns for Clinic (診療科), Day (月, 火, 水, 木, 金), and Doctor Name. Rows include various departments like Orthopedics, Nephrology, Robotics, Cardiology, etc.

[サイクル]

済生会熊本病院 連携広報誌

vol.92

2024.May

s a i k u r u

明日へつながる、より確かな医療連携をめざして。



医療連携部 新体制

2024年4月1日付で医療連携部副部長が交代し、済生会熊本病院 医療連携部は新体制となりました。

これまで以上に地域の医療機関の皆様、患者さんに寄り添った連携を推進してまいります。

皆様の変わらぬご指導、ご支援、ご協力をよろしくお願いいたします。



※担当医師は月により変更することがあります。ご了承ください。

topics

# 医療連携部 新体制



## 医療連携部 副部長就任のご挨拶

医療連携部副部長  
消化器内科副部長 内視鏡室長

上川 健太郎

### ●略歴

- 1997.4 熊本大学医学部附属病院  
(現 熊本大学病院) 第3内科
- 1998.4～  
2000.3 水俣市立総合医療センター  
消化器内科
- 2000.4～ 済生会熊本病院 消化器内科
- 2013.1～ 消化器内科 医長
- 2024.1～ 消化器内科 副部長 / 内視鏡室 室長
- 2024.4～ 医療連携部 副部長 兼任

### ●所属学会・資格

- 日本消化器病学会(指導医)
- 日本消化器内視鏡学会(指導医)
- 日本超音波医学会(指導医)
- 日本肝臓学会(専門医)
- 日本内科学会(認定内科医)
- 日本胆道学会

平素よりひとかたならぬ厚情を賜り、心より感謝申し上げます。このたび4月1日付で医療連携部副部長を拝命しました消化器内科の上川健太郎でございます。微力ながら地域の皆様の期待に応えることが出来るよう精進する所存でございます。何卒宜しくお願い申し上げます。

私は2000年4月に済生会熊本病院 消化器内科に赴任いたしました。当時は電子カルテもなく処方や注射も紙伝票の時代でした。あれから24年、医療の発展は目覚ましく電子カルテが導入され、手書き伝票がなくなり画像はフィルムレスとなりました。遠隔でも画像診断が行えるようになり、治療の分野ではロボット手術やIVR治療による低侵襲治療が医療の主体となりつつあります。24年前に今の状況を予測できたでしょうか。しかし、全く変わらないことがあります。それは医療連携です。私たちは、地域の先生方からご紹介いただいた大切な患者さんへ、質の高い救急医療・高度医療を提供していくことが何よりも重要だと考えております。人と人とを繋げる医療連携はこれから先も大きく変わることはないでしょう。地域の皆様との関わりをこれからも大切にし、患者さんや地域の先生方の期待に十分応えられるよう日々精進してまいります。これからも宜しくお願い申し上げます。

## 良好な連携を通じ 熊本の医療に貢献

医療連携部長  
心臓血管外科診療技術教育部長  
リハビリテーション部長

上杉 英之

薫風の候 皆さま方におかれましてはますますご健勝のほどとお喜び申し上げます。医療連携部長の上杉でございます。日頃より済生会熊本病院とともに、熊本県の医療をお支えいただき誠にありがとうございます。心より御礼申し上げます。このたび当部副部長であった坂本快郎医師の総合腫瘍科部長就任に伴い、新たに消化器内科副部長の上川健太郎医師が医療連携部副部長に推挽されました。坂本医師は消化器外科、特にロボット低侵襲手術の第一人者として広く認知され、医療連携において多くの貢献をいただきました。今後は更に俯瞰的な立場で熊本県のがん診療を支えていかれるものと期待しています。上川医師は一般消化器内科診療に加え、専門分野として胆道系疾患の診断と治療(ダブルバルーンERCP、EUS下ドレナージ等)、肝癌のインターベンショナルラジオロジー、肝臓病の診断と治療を受け持ち、多忙な臨床に明け暮れる毎日ではありますが、今回新しい視点で医療を見直していただける良い機会だと思っています。私は循環器医療、上川医師は消化器医療を基盤に、その他の診療科とも十分に協力し合いながら、多くの医療機関との良好な連携を通じて熊本県の医療に貢献したいと存じます。当院は「医療を通じて地域社会に貢献します～質の高い医療を済生のこころとともに～」を理念に掲げ、高度急性期医療と社会福祉を両輪として変わることなく活動して参ります。皆さまのご理解とお力添えを賜りたく存じます。どうぞよろしくお願い申し上げます。